

市民との意見交換会会議録

報告日及び報告者 R2.2.14 渡辺秀雄
川名順子

1. 日 時 令和2年1月25日(土) 午後2時～午後3時35分
2. 場 所 荒井地区公民館 日本間
3. 出席議員 伊藤隆一 川名順子 遠藤初実
橋本善壽 根本利信 渡辺秀雄 (6名)
4. 出席市民 11名
5. 会議経過

【午後2時開会】

◇ 渡辺秀雄議員 開会・挨拶

(出席議員自己紹介)

【意見交換】

2グループ分け意見交換を行った。

<グループ1> 記録

(1) これからの地域のあり方・活性化について

①災害対策について

意見 (市民)

被害の状況や市長の必死の避難の呼びかけがあった。福島大学の教授の話では、8・5 水害から河川の整備が進められ、誰もがこんなに大きな被害が起こると思っていなかったのが、犠牲者等被害が大きくなったのではないかと。

多額を投じてハード面の整備も限界があると思う。いくら整備しても想定外のことが起こる。ソフト面の充実やハザードマップの見直しが必要だと思う。

問 (市民)

エリアメールが何回と来て、またかという感じでした。

避難の範囲が広くて緊迫感が感じられなかった。昔のように消防自動車が鐘を鳴らして回って歩くこともなかったようだが。

答 橋本善壽議員

本宮地区は行われた。

越水したということで消防団も退避した。

意見（市民）

以前の 8・5 の災害から学ぶものがあつたと思うが、今回の災害に活かされなかったのでは。

意見（市民）

築堤工事で 1 m 上げたからといった安心感があつたのではないか。また、避難しろと言っても自分で出来ない人は、地域で面倒見るしかないのでは。

被害に遭わなかった人が、ボランティア奉仕するのは当たり前のことだと思う。

意見（市民）

情報伝達は早くしなければと思う。何度も数多くあると状況判断が鈍ることになるかもしれないが必要なことだ。情報判断について意識の改革をしなくてはならない。

渡辺秀雄議員

自主防災組織の設置状況はどうでしょうか

意見（市民）

去年立ち上げた。

継続していくのに、役員のなり手、運営等に課題はある。

災害が起きたときに活動できるか疑問である。

市の総合防災訓練の時に何か出来ればと思うので、検討しては。

意見（市民）

役員が回り番制で、年寄りが多く行動がうまく行かなく問題だ。

意見（市民）

回り番制は、任期の 1 年だけ過ぎればという考えになり、十分な活動は望めない。

組織をつくつたというだけで効果は期待できない。

問 橋本善壽議員

旧町内は大字地区くらいで行政区となっていてその中で自主防災組織ができている。地区公民館長を中心とした組織体制についてはどう思うか。

意見（市民）

新年度になって新しく役員になった人に、地域ごとにハザードマップや防災についての認識をもってもらふような取り組みをしていくことが大切ではないか。

問（市民）

総合防災訓練のとき自主防災組織にも参加の案内でてるのか。

答 橋本善壽議員

出ている。回覧でも回っている。

意見 渡辺秀雄議員

自主防災組織の人たちも実際に活動出来るようなプログラムが欲しいと思う。

意見（市民）

それが一番と思う。回覧板で来るが、行くのに大変とかでスルーしてしまう。

意見（市民）

避難場所も公民館という設定は問題だ。遠くて歩いてなど行けない。

集会所の設定も検討すべきでは。

意見 渡辺秀雄議員

地区公民館長の仕事はその地区の教育部門に関してあって、行政に関しては別で新たに設けることが必要ではないかと思う。

説明（市民）

市長部局の敬老会も任せられている。

行政の関係は町内会(行政区)長である。大字地区の場合本来ならば、各町内会(行政区)長の代表者が大字地区の各行事等を主宰すべきだが、荒井は公民館長となって来ている。

説明 橋本善壽議員

仁井田は、お金(会費)を集めることを公民館長ではまずいことで、主宰者は体育振興会長となっている。しかし、行事は公民館長中心となっている。体育振興会長はお金(会費)を集めるだけの役職。

意見（市民）

地域によって違うと思うが、どうすればいいのか、一年で役員が交代というのがどうなのか。

説明 橋本善壽議員

設立時 20 万円もらって、いろいろ揃えたりして活動しても、それで終わってしまって、その後の活動に繋がって行かないのが問題。

説明 根本利信議員

岩根地区の場合例として、自主防災組織の長を行政区長は行事等が多いので、終わった人になってもらい、一年ではなく数年お願いしている。昨年の総合防災訓練には多くの皆さんに参加してもらった。公民館長がとなれば行政区の役員等関係してくることになる、活動は地域民の意識をいかに持たせるかにかかってくるのでは。11 地区中 3 地区なのでこれから。

問（市民）

活動はどんなことを。

答 根本利信議員

池ノ入では抱き付観音の秋祭りにあわせて、炊き出し、防火訓練を行って意識を高めている。

答（市民）

私の方は、消火器やバケツを配ったり、戸数に関係なく 20 万円なので、その範囲で地区によってラジオを配ったとかいろいろのようだ。

意見 橋本善壽議員

災害が起きたときに、一人暮らしの年寄りしかいないのを見てくれるというのも防災組織の役割かと。

意見（市民）

東日本大震災のときに大崎市では共助がしっかりしていたこと。まずは近くの人が助け合って、ライフラインとか行政の助けは3日後とかになってで、共助が一番大切である。

説明 橋本善壽議員

災害対策の今後の市の取り組みについて、阿武隈川の築堤工事、河道掘削や安達太良川の改修などについて説明した。

意見（市民）

阿武隈川の郡山地区にも改修時期を、本宮地区が完了してからという地区があると聞いたことがある。

意見（市民）

最近地元県議も言うようになったが、阿武隈川流域を白河から広域的に検討して整備して行かなければならないことだと思う。阪神淡路大震災のときに人の命を救った8割は隣の人のおかげだそうで、大きな災害の時には公の力は2割しか役に立てなかったそうだ。もし町内会で何かあったときは防災組織がなくてもみんなで助け合った。町内会単位でもいいから意識を高めるようにしていくべきと思う。

問（市民）

目の見えない人や防災無線等の音の聞こえない人など、障がい者の避難について考えて欲しいが皆さんの意見を聞きたい。

説明 橋本善壽議員

大切なことで防災組織の活動のなかで該当者の把握、避難誘導等をしていければと思う。また、そういう人の避難所についても何か所を設置をしていこう働きかけて行きたい。

説明 渡辺秀雄議員

今回本宮市において福祉避難所の設置について、公表していなかったという報道について質したところ、各避難所で対応したとのことだった。

今の話を聞くと今後は公表すべきと考える。

意見（市民）

地区内の住民の実態が分からない。区長だけでも把握できればと思うが。

説明 渡辺秀雄議員

民生委員が見守りをするのに、名簿作成にあたって個人情報ということで課題があり取りまとめが出来ないそうです。町内会なら隣近所のことは分かるだろうから把握できるのでは。町内会内のコミュニケーションを図ることが大切

である。

意見（市民）

隣が分かれば、その隣と進めていけば把握は可能かと思う。

説明 橋本善壽議員

共助の大切さが改めて認識されたということで、今後に取り組みに活かしていければと思う。

②子育て・学校教育について

説明 橋本善壽議員

本宮市の子育て・学校教育について感じていることあればお伺いしたい。
先ずお母さんにお聞きしたい。

意見（市民）

コミュニティスクールを五百川小学校で始まった。本宮二中でも始めるというが、地域との繋がりをもって進めていくことは良いことだと思う。

意見（市民）

自分も関わっているので、
今、二中と岩根小学校で月1回くらい集まって検討委員会を進めている。
コミュニティスクールは昔からの地域と学校の繋がりを、どうやってもって行くかの取り組みであり、大きな課題である。
いろんな取り組みを今までもやってきたが、時代の変化、子供が少なくなってきた、地域と学校の関わりが段々と遠くなってきた。
そういう問題意識から出てきた取り組みであり、地域の教育力の回復を目指している。
全国的にも取り組みが多くなって来ている。

説明 橋本善壽議員

子育て終わっても学校との関わりをもって子どもを見守って行くことが必要であり、高齢者の見守り隊も活動され子供たちを見ているがどこの子どもか分からないのではないか。

意見（市民）

毎朝子どもたちと学校の近くまで行っているが、最初は防災無線での放送もあり警戒された。今は挨拶するようになった。
今では、出ていないと子どもたちが心配してくれる。
見守っているのでなく、見守られている感じ、それでいいと思う。
子どもが少なくなって来ているが、先生に望んでも限界がある。
地域で手伝える範囲、子どもと遊ぶことくらいはできるのではと思う。
問題は親にあると思う。

意見（市民）

朝、野球やっている子どもたちを送ってきて、見送るのにバスを待っているお母さんに大変だと思って「おはようございます。」と挨拶しても言葉が返って来ない。

寂しいものだ。子どもの教育より親の方が問題だ。

意見（市民）

私が声かけると、自転車で通って行く二中の生徒は皆朝の挨拶していく。

生徒が挨拶してきたときには、挨拶を返して欲しいものだ。

意見 根本利信議員

地域で大人が声をかけてやることが大切と思う。

意見 橋本善壽議員

行政に対して学校、教育、子育て等を言う前に、先ず親の教育を論じるべきなのか。

意見（市民）

車に乗せたよその子がゴミを窓から捨てた、注意したら親から中に捨てるなと言われていた。

意見（市民）

地域の人がもう少し学校の活動について関心を持ち関わるべきではないのかと思う。

意見 橋本善壽議員

P T Aの会長になり手が少なく順番制でやっている。

意見（市民）

夕方6時ころ五百川小学校帰る先生はいない。仕事が多く大変だと思う。

先生も子育てしているのに。預けているわけだがそのような先生に放課後勉強してくださいとよく言えると思う。

意見（市民）

負担を少なくするのに、地域の人達が学校に多く関わっていくことが必要だと思う。子ども寝まで学校に頼っている状況であってはならない。先生は子どもの勉強のことをと分けてやっていくべきだが、手が回らなくなっている状況からコミュニティスクールの取り組みが出てきており、浸透していけばいいと思う。

意見（市民）

親との関わり方が大切だが、拒否反応を起こされるとどうにもならない。

意見 橋本善壽議員

子育ては親がしっかりと携わって行かなければならなく、行政、学校はそれを支えていくことだと思う。

③地方議員のなり手不足について

問 橋本善壽議員

地方議員のなり手不足について皆さんの意見を聞きたい。

意見 渡辺秀雄議員

特に女性議員が少ない。大玉村では3人いるが。

説明 橋本善壽議員

現在の市議会議員の報酬等について説明する。

意見 (市民)

50歳よりもっと若い人を育てられたら、一般会社でなら500万円もらうのは40歳ちかくなる。そういう人を会社とやり取りして出せないか。

問 橋本善壽議員

もしみんなから押されてお父さんが議員になったらどうしますか。

意見 (市民)

市のため何かやりたいと志があればいいですが、あればの話です。なくてはね。

意見 (市民)

我々は議員に対して、批判だけはできるが、お前やってみろと言われるとできない。

意見 (市民)

働き盛りの人が、家族を養って行くには報酬が低い。他に収入がある人やこの地域の状況からみれば、議員報酬はもらっている方だと思う。引き上げればなり手が多くなるかとは思わない。お金の問題ではないと思う。

魅力がないのではないか。

意見 渡辺秀雄議員

魅力がないということは、現在の議員の行動にも責任があるということにもなるのか。

意見 (市民)

それはあるんじゃないかな。

市長の言うことだけを聞いていればいんだと言うことでは。

首長が優秀だと議員が成長しない。会社でも社長が立派だと社員が伸びないといわれる。

意見 (市民)

今日の出席者前回より少ないと思う、出てくる人は限られている。

出なくてはと思っている人間には、日中の会議は困る。

去年より少ないなら夜に戻した方がいい。

意見 (市民)

世の中があんまり良くなって、生活に不便を感じなくなってきた。

生活も裕福になってきている、もっと不満があったなら関心もあるのだろうと思う。

意見（市民）

33万円毎月入ってくるんだが、家業とかみんなで作ってきっていたが、働き手が少なくなってきたためもあるのでは。

意見（市民）

現職の方が後継者を見つけてくれればいいのだが。

意見 渡辺秀雄議員

そのためにも皆さんの意見をお聞きしたい。

意見（市民）

職員の資質向上には議員の質問も大切である、一辺とおりでではだめである。

【午後3時35分散会】

<グループ2> 記録

(1) これからの地域のあり方・活性化について

①災害対策について

問（市民）

原発事故から9年、汚染土いつ運搬終わるのか

答 伊藤議員

今年度いっぱい予定だったが、年度内にはできないかと思う。下樋・梅原は終了。本郷は進行中。羽瀬石・矢沢・入矢沢・荒井はやっていない。早く持って行って貰いたい。

問（市民）

県外から来た。除染土搬出した後、仮置き場は何に使うのか。

答 伊藤議員

地権者に意見を聞く。そもそも、原状復帰であるが、意向調査を踏まえ、県・環境省との協議の結果を待つ。

問（市民）

農地にしても大丈夫か？

答 伊藤議員

シートをひき、土壌・遮水シート・三重なので大丈夫。濃度計っている。

問（市民）

台風19号の影響はなかったのか

答 伊藤議員

ないと思っている。

問 (市民)

7名亡くなっているが、住みやすい街が水害に弱い街と全国的に有名になった。12月議会でチェック機関として自然災害の対応で、何がまずくて、何を改善して、何をしていくのか、市民の生命の安全を守っていくのか、議論なされたのか。

答 遠藤議員

12月議会は、そのような質問が多く出た。防災無線で流したが、安心しきっていた。声かけをやろうという話がでてきた。具体的なところは堤防とか決まってきた。

答 伊藤議員

特別委員会設置している。これから対策練っていくのが課題である。

問 (市民)

問題点わからないと対策・改善できない。仁井田は被害なかったが、駅前、パナソニック周辺が水没した。学者がこれからどんどん水害がひどくなるといっている。検証して議会としてのチェック機能果たしてもらいたい。

問 (市民)

ハザードマップで予想されていた。その通りだった。その辺のところ対策取らなかったのか。

答 伊藤議員

越水したところ700メートル 嵩上げ工事の最中だった。嵩上げする部分と水が上がったのがギリギリだったという事が分かった。国から1m分の嵩上げと弁天の畑の所がまっすぐになるように工事することが決まった。

河道の地盤が高くなっている。河道の掘削、須賀川の上に遊水地を作る案が浮上している。

各町内会で自主防災組織を作ってもらって備えて貰うと市長が話している。国でも、安達太良川も枝河川の部分も、今回の河道掘削していく方向性で考えている。

問 (市民)

館町・古い建物多く、戻らない人増えている。補助出して集団移転して遊水地にできないか。

答 伊藤議員

団地としても古い。新しい住まいを考えると娘・息子の所に行くと空き家が多くなる。行政も考えなくてはならない

意見 (市民)

独り住まいの人が多くなっている。

問 (市民)

堤防の嵩上げは暫定対策にしか思えない。恒久的に水を逃がす遊水地や人々を移転させるくらい、その位手をつけないと馳ごっこになってしまい、税金の無駄

遣いになってしまう。ハザードマップの水害予定地域の固定資産税を高くして、少しずつ状況を変えて、みんなを高台の方に行かせるような方向付けをして、人々の暮らしをこれから 100 年先 200 年先の日本を考えていかなければならない。千年に一度の津波に備えている。毎年起きる洪水に備えては。

答 伊藤議員

阿武隈川の遊水地だけではない。行政はそれなりに模索していかなければならない。

問 (市民)

千代田の橋の下の川の底掘りの工事をしている。あれをやったらいいのではないか。

答 川名議員

安達太良川の河道掘削は、県管理の為今までできなかった。今回の水害で、赤羽国土交通大臣が県管理の部分も含めて国がしっかりと手を打っていきなさいと支持を出された。阿武隈川も含めて河道掘削していく。

問 (市民)

山の木、伐採して保水力失っている。ため池作る、堤防の嵩上げなど従来の発想ではスーパー災害に対応できるのか。メガソーラー果たしていいのか。

答 川名議員

県が許可したものは、市で反対はできない。

答 伊藤議員

調整池 2 つ作る予定にはなっているが、年中池に流れるようになっている。12 万 6700 枚のパネルが設置される予定。今回の雨量が降った場合、瀬戸川に流れる。それが飲み込めるのかどうか心配している。

今日、地元の説明会開くようになっている。日立製作所が地下埋設でやる予定。工事期間は 2 年だがそれからいつ稼働するかわからない。

意見 (市民)

他県から来たが、メガソーラーもなく自然豊かな子育てしやすい本宮を選んだ。治山治水を考えて、禿山にするメガソーラーより、自然豊かな環境の方がいい。

(市民)

小泉大臣も火力発電がいかななものかと言われていたが、公的な発電も必要だが、バランスの問題だ。

②子育て・学校教育について

問 (市民)

通学路にガードレール付けて通学路整備して欲しい。二中に通わせている親としては、工事の車など狭い山道をスピード出す車に気が気ではない。住みよい街

NO1と言っているが私はそう思っていない。

ショッピング施設のような、もっこりするような道路にしてスピード落とすような道にして欲しい。

教育・安心・安全をお願いしたい。

答 伊藤議員

我々としても、早急に要望していく。

問 (市民)

岩根から来る浄水場の所には、蛇行しているうえに、通学路がない。

問 (市民)

五百川小学校の通学路確認した時、縦割りのお役所仕事で白線一本引くのに、3年かかった。命にかかわることを心配している。誰か犠牲者出ないと対応できないのか。

答 伊藤議員

今、少しずつ広げている。市の部分に関して要望して実現してきた。県道の部分に関しては、すぐにはできないが、荒井から仁井田にかけて防犯灯もずいぶん設置してきた。拡幅も含めて、設置の要望があればと校長の方には話してある。

みずきヶ丘は、業者が造成したものでそれを今、市が引き継いでいる。

③地方議員のなり手不足について

問 (市民)

子育て・学校教育についてと地方議員のなり手不足については、関連している。若い人に政治に関心を持って、投票率あげようとしても、現実的には難しい。子供議会を提案した議員がいたが開催されていない。大玉村では青年議会が開催され、16歳から40歳の10人が、村長・執行部が出席、後ろで議員が傍聴し、一人10分の持ち時間の中で、質問・答弁されている。小さい子供のうちから議会に関心を持たせないといけない。お金はあまりかからないから、是非やって貰いたい。

小さい時から投票に行く親を見ていると投票率高くなる。

答 伊藤議員

本宮小学校6年生が議会の仕組みの勉強に来た。議長が対応している。毎年、岩根小学校の子供たちも、傍聴に来ているが去年はこなかった。

答 川名議員

学校教育の中で時間が足りないのではないか。

意見 (市民)

こういう場に若い人がこないのも、投票に行かないのも自分の1票では何も変わらないと思っている。

意見 (市民)

問題意識がないのではないか。

意見（市民）

現状打破したいという気持ちがない。自分も若い時は関心がなかった。議員が何やっているかもわからなかったが、自分の言ったことが一つできると、関心を持つのではないか。こうしてやっても、議会でできるものと執行部につなぐものと分けるといっているが、ここで言ったことが議員に言ったことが何も返ってこない。できないならできないでいいが、つないでもらった結果を伝えてほしい。

答 伊藤議員

やらなくてはならないことは、しっかりと対応していく。

問（市民）

女性議員が必要。人口割にしたら 15 人くらいでいいのではないか。

問（市民）

議員に議員定数決めろというのは酷な話である。女性と男性半々でもいいのではないか。第三者意見を聞いて客観的な意見踏まえて人数決めては。

市長選も県議選も市議選も無投票では、私たちの民意を反映する所がない。議員にも緊張感がない。

定例会、その他の活動見ても、年間 80 日くらいしか活動していないのではないか。地盤・看板・鞆がないと出られない。貧乏人は出られない。供託金など借金してまででは出られない。

金曜日とか土曜日とか夜とかサラリーマンやりながらできる。

問（市民）

無投票の時は、信任、不信任の投票したらどうか。仕事量が少ないのではないか。

答 伊藤議員

常日頃歩かないと市民の負託には答えられない。

問（市民）

話は違うが、免許証を自主返納するとどこにも行けないのが不安だ。

みずきヶ丘から定期的にバス出して貰いたい。インターの近くに道の駅・直売所作って貰いたい。

答 川名議員

自動ブレーキの補助金が国の補正予算で出るので、しっかり車の整備してはどうか。

答 伊藤議員

アウトレットなどは県の許可が必要
しっかり頑張っていきます。

【午後 3 時 30 分閉会】